

JF-IETF-RFC4579

会議における SIP の isfocus フィー チャーを用いた呼制御手順

〔 Session Initiation Protocol (SIP)
Call Control - Conferencing for
User Agents 〕

第 1.0 版

2009 年 5 月 27 日制定

社団法人

情報通信技術委員会

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE

本書は、（社）情報通信技術委員会が著作権を保有しています。
内容の一部又は全部を（社）情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

目次

<参考>	4
1. 標準の概要	5
2. 本標準で規定する内容	5

<参考>

1. 国際勧告等との関係

本標準は、IETFにおいて制定されたRFC4579に準拠している。

2. 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1. オプション選択項目

特になし

2.2. ナショナルマター項目

特になし

2.3. 原標準に対する変更項目

特になし

3. 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1.0版	2009年5月27日	制定

4. 工業所有権

TTCの「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで公開されている。

5. その他

(1) 参照する主な勧告、標準

IETF RFC:RFC2119, RFC3087, RFC3261, RFC3265, RFC3323, RFC3420, RFC3515, RFC3665
RFC3840, RFC3891, RFC3911, RFC4235, RFC4245, RFC4353, RFC4575

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるIETF RFCによっている。

具体的な規定内容はRFCを参照する必要がある。

6. 標準作成部門

信号制御専門委員会

1. 標準の概要

本標準はセッション開始プロトコル(SIP)のための会議呼制御の特徴機能を定義する。本標準は、密結合な SIP 会議機能の動作方法を定義する会議機能要件とフレームワークに基づき作成する。この取り組みは、会議参加可能機能のみを有する UA、SIP の会議用機能利用可能な UA、会議を主催機能を有する UA と、種々のユーザエージェント(UA)の類型の見地から検討される。会議機能における統一リソース識別子(URI)の使用、能力発見の為の OPTIONS、REFER を使用する呼制御がコールフロー例により、詳細に取り扱われる。isforcus 特徴 tag の使用方法を定義する。

2. 本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の IETF RFC による。

IETF RFC4579 : 「Session Initiation Protocol (SIP) Call Control - Conferencing for User Agents」